

平成29年度なかいずみ学府小中一貫教育推進計画

1 なかいずみ学府小中一貫教育の背景及び経過

一中校区3校は、単に各校が近接しているだけでなく、「一中魂」とも言われる「子供に寄り添う」「子供につく」という学校文化を大切にしたい、風通しのよい連携教育を推進してきている。特に、「一中校区幼小中協同宣言」(①「実践しよう「あいさつ+1」、②育てよう「目と耳と心で聴ける子供たち」、③高めよう「声の力」平成20年度策定)は、各校に確かに根付いたものとなっている。また、合同学校保健委員会の開催(兼 PTA 合同講演会)、PTA おやじの会の活動(平成21年度～)等が保護者・地域の交流も脈々と受け継がれてきている。こうした一中校区ならではの良さ・強みを生かした、なかいずみならではの小中一貫教育を平成24年度から推進してきた。なかいずみ学府では、次の3つを取組の基調としている。

- 育てる子供像を一貫させること
- みんなが9か年の学びと育ちに責任をもつこと
- できるところから一步一步着実に進めること

また、ランドデザインに示したように、「確かな学力づくり」「豊かな心づくり」「つながりづくり」の3つの視点から小中一貫教育に取り組み、その中で生まれてくるそれぞれの「実感」を確かめ合い、今後の礎とすることで、より確かな歩みを続けていきたいと考えている。つまり、一貫教育の一つ一つの取組を目的とするのではなく、その中で、生まれる実感から、取組を価値付け、子供の育ちにどんな効果をもたらすかを丁寧に見取することを大切にしたい。

平成25年度は、重点目標を「取組の中で生まれる様々な実感をもとに、新たな一步を踏み出す」とし、「実感」と「具体的な取組」のサイクルの中で、たえず質を吟味しつつ、一貫教育の推進に努めてきた。講師の武井敦史教授により提案された「小さな実験」への取組を進めることに努めてきた。そうした「新たな一步」によって、小中一貫教育の良さを実感する教職員の割合が平成24年度に比べ大幅に増え、着実な浸透が見られるとともに、個人レベルの取組によって、授業改善が進んできたが、小中一貫教育の柱としている英語に関しては、小学校外国語活動と中学校英語学習の接続、他教科のゆるやかな接続を図る取組が大きな課題として挙げられた。

平成26年度は、これらの課題を踏まえ、重点目標「小さな実験と実感をもとに、確かな一步を踏み出す」とした。小学校外国語活動と中学校英語学習については、なかいずみ学府の外国語カリキュラムを完成させた。小学校1年～中学校3年までの学習内容と指導内容をまとめることで9年間の英語指導の流れを職員に伝え見通すことができるようになった。

3校の職員が一緒に研修をすることで、職員間のつながりができてきた。夏と秋の合同研修会では、教科の接続について教科ごとの分科会で協議を重ねた。それぞれの学校での授業実践の中での成果や課題を出し合うことで一人一人の授業改善につなげることができた。

平成27年度は、今までの取組を大切にしていきながら豊かな心を育て、確かな学力をつけるために教科の接続についてさらに研修を深め、一中校区の学力向上のために何が必要なのかを考えていくことができた。学府アンケートの結果の中の「小さな実験に取り組むことができたか。」について、「できた」と答えた教職員が86%と高い評価を得ることができた。

平成28年度は、より具体的に共通実践していく内容を各教科で話し合い、教科の接続についてさらに研修を深めていった。学府の教職員がそれぞれの立場で、授業改善を中核とした「小さな実験」に取り組み、その取組を交流させることで、より確かな実践を生み出すことができた。また、取組の中で生まれる「実感」や「学び」に注視し、一中校区の学力向上のために何が 필요한のかをじっくり考え、その質を高めようとしてきた。

平成29年度は、9か年の学びをどのように共通認識をもって取り組んでいくかということが挙げられる。平成32年度の小学校、平成33年度の中学校の学習指導要領改訂に向けて、より教科の接続を意識した取組を考えていく必要があると捉えている。

2 なかいずみ学府の目標と重点目標及び概要

教育目標

つながりの中で、子供たちに確かな学力、豊かな心を育てる

平成29年度重点目標

「授業改善」と「実感」をもとに小中の交流を深める

- ・ 学府の不登校対策
- ・ 中学校教員によるTT授業の実施
- ・ 学府合同研における教科と生徒指導の研修の推進

平成29年度は、本格実施5年目を迎える。4年間で積み上げてきた実践を素地としながら、来る新学習指導要領改訂に向けて、学府としてできることを模索していきたい。すなわち、なかいずみの教職員がそれぞれの立場で、授業改善に取り組み、その取組を交流させることで、より確かな実践を個々の中に生み出したい。また、取組そのものは、あくまで手段であることを自覚し、取組の中で生まれる「実感」や「学び」に注視して、その質を絶えず吟味していきたい。具体的には、3つの視点から、グランドデザインに示した取組をとおして、目標の具現に迫っていきたい。

確かな学力づくりでは、今年度も学府の教員相互の交流を進めていく。特に授業を視点に置いた研修を進めていくことは、子供たちのためになることはもちろん、我々教職員の授業改善の意識を高めることにつながる。具体的には、気軽に互いの学校の授業参観をしたり、中学校の先生による小学校の入り込み授業に取り組んだりすることは、子供観や授業観を磨く絶好の機会であると考えている。

小学校の外国語活動と中学の英語学習の接続については、子供にどんな力を付けたらよいか、小学校の外国語活動を経験してきた子供たちが中学校の英語をどのように学んでいけばよいかを、多様な目で見取りながら、授業改善を図ってきた。小学校においては、中学校教師やALTによるTT授業によって、教師も子供も抵抗感なく授業を進めることができるようになってきた。そこで、今年度は基礎学力の定着という視点に戻り、基礎教科(国語、算数)の中学校教師のTT授業を進めていく。

また、9年間の育ちの中で子供の学びを私たちが感じ取ることで、目の前の子供の学びを見直す機会にもなる。また、3回計画されている合同研修会では、なかいずみ学府の取組を確認することはもちろんのこと、教科の接続やより実践につながる研修を行い、小中学校での課題を見出し、指導方法について考えていきたい。

豊かな心づくりでは、これまでの児童生徒間交流を礎にししながら、自然な形での交流を推進していきたい。26年度から、2小学校合同の観音山宿泊体験学習を行ってきている。今年度も実施していくが、つながりを意識した取組を行ってきたい。また、小小交流の実施については、担当学年が早めに打合せができるように計画していきたい。そして、特別支援教育部の小小、小中のつながりをより密接なものにし、各家庭に浸透するものにしていきたい。学府の子供たちは、生徒指導上の大きな問題もなく、落ち着いた学校生活を送っている。しかし、不登校や登校を渋りがちな子供もいて、中学校ではここ数年、増加傾向にある。そこで、こうした問題について調査分析をし、小中学校の共通課題として改善できる方向性を探ってきたい。また、こうした問題について、合同研修会の際に話し合う場を設定していく。

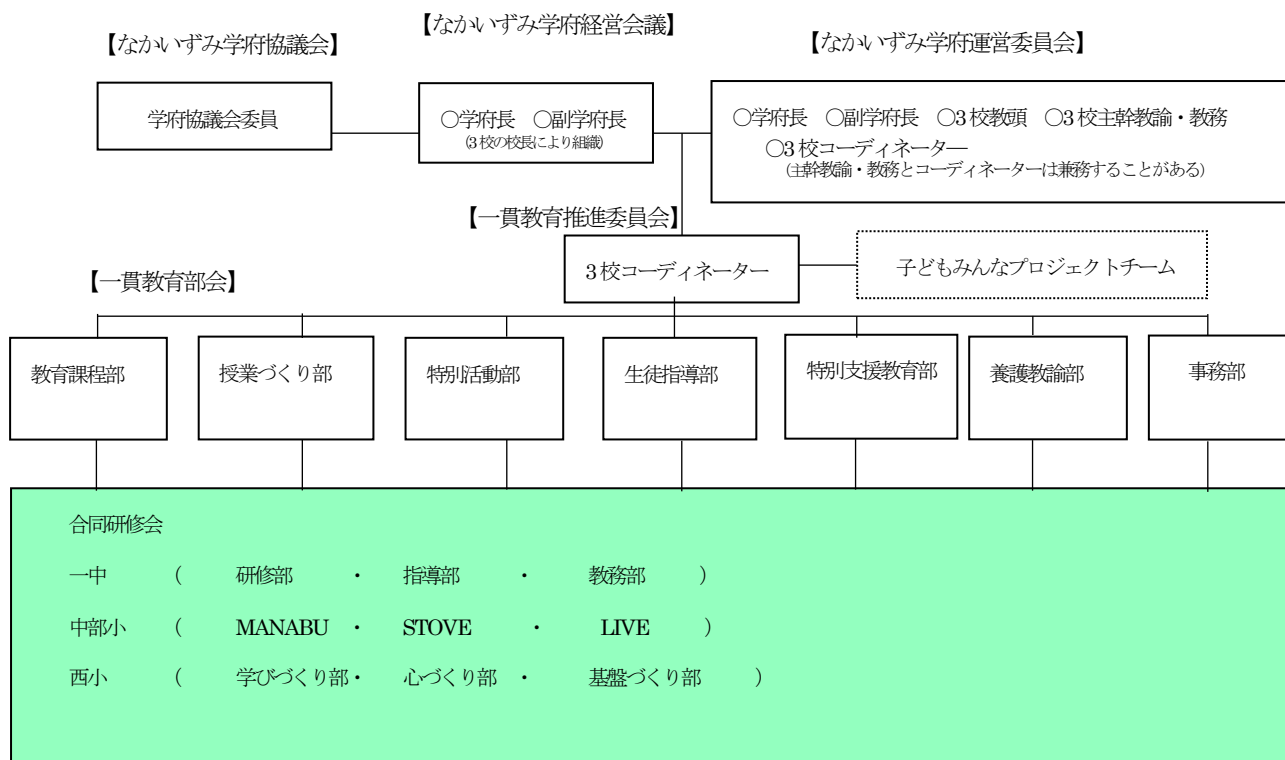
最後に、つながりづくりでは、学府協議会での率直な意見交換をとおして、地域の方や保護者がどんな思いを持っているか、そこにどんな問題があるかを的確に把握すること、地域の防災、防犯、福祉、それぞれの部との連携のあり方を探ること、学習ボランティアを含めた地域や保護者との関係づくり等コミュニティ・スクールの取組と結びつけていきたい。29年度から、学府合同引き渡し訓練を実施し、災害に備えた取組を行っていく。また、3校の事務職員が円滑な学校運営について、連携をして定期的な話し合いを行っていく。これらのことをとおして、教師とは異なる立場から小中一貫教育や子供を見つめる視点に学び、ともに歩む姿勢を大切にしていきたい。

3 主な取組内容

児童生徒間交流			
① 部活動見学 (会場:一中)	5月30日(火)	⑤ 合唱コンクール (会場:市民文化会館)	11月8日(水)
② 部活動指導(水泳) (会場:西小・中部小プール)	7月中旬	⑥ 一中2年生職業体験 (会場:中部小、西小)	10月12, 13日
③ 部活動指導(陸上) (会場:かぶと塚競技場・中部小)	9月中下旬	⑦ 小小交流(学年を限定しない)	可能な時期
④ 体育大会 (会場:一中)	9月22日(金)	⑧ 観音山宿泊体験活動	1月15日(月)～17日(水)

保護者間交流			
① 合同学校保健委員会 (会場:中部小、担当:中部小)	11月10日(金)	PTA合同講演会と兼ねる。(講師については検討)	
① 第1回運営委員会 (会場:中部小)	5月8日(月)	⑤ 教職員体育大会 (会場:一中)(担当:西小)	体育大会・合同研 8月3日(木) 懇親会 8月4日(金)
② 第1回小中連絡会 (会場:一中)	5月9日(火)	⑥ 第2回合同研修会・懇親会 (会場:ソフィア) (夜担当:中部小 会場ラ・ルーチェ)	
③ 学府協議会 (会場:一中)	8月24日(木)	⑦ 第3回学府合同研修会 (会場:西小)	10月25日(水)
④ 第1回教育部会(4部) (会場:一中)	5月16日(火)	⑧ 第2回運営委員会 (会場:中部小)	2月21日(水)
④ 第1回学府合同授業研修会 (会場:一中)	6月7日(水)	⑨ 第2回小中連絡会 (会場:一中)	3月8日(木)

4 学府組織



平成29年度 なかいずみ学府 グランドデザイン

<子供のよさ>
明るく素直で、物情し、
異学年の絆がよい。

<子供の課題>
学力の二極化の傾向が強く、
学力の低い児童が少なくない。
不登校や早退行動が少なくない。
子どもの健全な育成の妨げとなっている。

〈なかいずみ学府の育てる子供像〉

① 「あなたもいっしょ」 「調子」 「あなたは一人で はなしい」 (他者受容) (他者への信頼感)	② 「わたしっていいな」 「特権」 「あなたはあなたの ままでいい」 (自己受容) (自尊感情)	③ 「みんなのために」 「堂々」 「あなたには力がある」 (自己有用感) (貢献できる力の自覚) (存在感)
--	---	---

<御関係「有徳の人づくり」>
1. 自らの資質・能力を伸ばし、
個人として自立した人
2. 多様な生き方や価値観を
認め、人との関わり合いを大
切にする人
3. 社会の一員として、よりよい
社会づくりに参加し、行動す
る人
<藤田市の目指す教育>
ふるさとを愛し、未来をひらく、
ひまわり藤田市長

なかいずみ学府の教育目標

つながりの中で、子供たちに確かな学力、豊かな心を育てる

29年度の重点目標

「授業改善」と「実感」をもとに小中の交流を深める

【確かな学力づくり】

1 学び合う授業づくり

～それぞれの校内研修の推進と交流～

- 個人レベルでの授業改善を意図した実践
- 授業参観による教員交流
- 中学校教員の小学校入り込み授業
- 小中、小中の教科の接続(教科部会の充実)
- 8年間を見通した学び(カリキュラム作成の足がかり・指導計画の見直し)

2 基礎学力の定着・学習習慣の確立

- 各校の補充学習の推進
- 中学校教員と学級担任による小学校(国・算)のTT授業の実施
- 国、算、英(中学)等に関する家庭学習の継続

3 外国語活動と英語のゆるやかな接続

- なかいずみカリキュラム外国語版の実践・修正

4 中1数学の授業による相互交流

- 中学とのつながりを意識した授業改善

5 地域の人・もの・ことから学ぶ

- 生活科・総合的な学習の時間の学びの接続

【豊かな心づくり】

1 基本的な生活習慣の定着

- 小中のつながりをもった基本的な生活習慣の定着
- 「かかわり」と「つながり」を広げる挨拶の交流
- 靴のかかとをそろえる、心をそろえる
- 合同学校保健委員会の実施

2 豊かな心を育むための取組

- 子供に付き、子供の心に寄り添う生徒指導
- 不登校問題の対策を考える取組
- 子供のニーズに応じた特別支援教育の推進
- 思いやりの心を育てる異学年交流

3 学校行事等をとおした子どもとの交流

- 児童会と生徒会活動…挨拶運動、ボランティア活動
- 歌声を聴いたり一緒に歌ったりする合唱コンクール
- 課外活動・部活動を通じた交流、学び合い
- 運動会と体育大会 よさこいソーラン節
- 職場体験学習をとおした児童生徒間交流
- 小小協働による観音山宿泊体験活動

みんなが9か年の学びと育ちに責任をもつ

〈互いをむらさき 教員同士がつながる〉

子供達や授業観を共有し、
教員間のつながりも深める

子供理解・指導をつなげる
小中連絡会・一中総務会

合同授業研修会6.7の開催

〈地域とつながる〉

地域人材の共有

- 学習参加
- 各種活動の支援

一貫教育部会の開催

- 授業づくり部
- 生徒指導部
- 特別支援教育部
- 特別活動部
- 教育情報部
- 愛護教員部
- 事務部

**3校合同学校保健委員会
兼PTA教育講演会**

生徒指導や事務の連携

- 出前授業への参観
- 定期的な3校学校運動会の開催

なかいずみ学府協議会の設置

- 各学校協議会組織を生かした地域との連携
- 地域の方による学習支援についての推進

学府合同引き渡し訓練の実施

- 災害に備えた3校合同の訓練

【つながりづくり】

実感 子供、教師、保護者が、小中一貫教育に直接にかかわることで感じる「よさ」「面白さ」「大変さ」等様々な思い

担当	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
学府事務局	西小	中部小	一中	西小	中部小	一中	西小
公開授業研究会	西小	一中	中部小	西小	一中	中部小	西小
合同学校保健委員会	一中	中部小	西小	一中	中部小	西小	一中
PTA合同講演会	西小	一中	(中部小)	(西小)	(一中)	(中部小)	(西小)
教職員球技大会	中部小	西小	一中	中部小	西小	一中	中部小
懇親会	一中	中部小	西小	一中	中部小	西小	一中

資料 各校の参観会・学校行事一覧

平成29年度 3校参観会一覧					
No.	学校名	参観会月日	学年	時間	備考
1	磐田西小	6月22日(木)	低学年 くすのき	5校時 (14時05分～14時50分)	
2	磐田西小	6月27日(火)	高学年	5校時 (14時05分～14時50分)	
3	磐田中部小	6月29日(木)	全学年	5校時 (14時05分～14時50分)	
4	磐田第一中	7月5日(水)	全学年	5校時 (14時10分～15時00分)	
5	磐田西小	10月27日(金)	全学年 (フリー参観会)	2～4校時 (9時35分～12時10分)	
6	磐田中部小	11月22日(水)	全学年	5校時 (14時05分～14時50分)	
7	磐田第一中	11月24日(金)	全学年	5校時 (14時10分～15時00分)	
8	磐田中部小	2月16日(金)	高学年	5校時 (14時05分～14時50分)	
9	磐田西小	2月16日(金)	1, 3, 5年	5校時 (14時05分～14時50分)	
10	磐田中部小	2月20日(火)	低学年	5校時 (14時05分～14時50分)	
11	磐田西小	2月20日(火)	2, 4, 6年 くすのき	5校時 (14時05分～14時50分)	
12	磐田第一中	2月23日(金)	1, 2年	5校時 (14時10分～15時00分)	

平成29年度 3校学校行事一覧					
No.	学校名	月日	内容	時間	備考
1	磐田第一中	9月22日(金)	体育大会	時 分～ 時 分	一中運動場 予備日:26日(水)
2	磐田中部小	10月14日(土)	歌声発表会	時 分～ 時 分	中部小体育館
3	磐田第一中	11月 8日(水)	合唱コンクール	時 分～ 時 分	市民文化会館
4	磐田西小	11月17日(金)	西っ子の集い	時 分～ 時 分	西小体育館
5	磐田西小	11月28日(火)	持久走大会	時 分～ 時 分	かぶと塚陸上競技場 予備日:29日(水)
6	磐田中部小	11月30日(木)	マラソン大会	時 分～ 時 分	国分寺公園 予備日:1日(金)